

第8回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：平成30年9月27日（木）午前1時～
場所：稲敷市役所本庁舎 3階北321会議室

進行・時間	発言内容
1. 開会	
事務局	<p>それでは改めましてこんにちは。ただいまより第8回目の外部評価委員会を開催させていただきたいと思います。</p> <p>始めに委員長からご挨拶いただきます。よろしくお願いします。</p>
2. 委員長あいさつ	
委員長	<p>日程もほぼ終わっており、うまくまとまってきたのかなというイメージです。本日もよろしくお願いいたします。</p>
3. 議事	
(1) 平成30年度外部評価報告書の取りまとめについて	
事務局	<p>それでは、3番の議事に入りたいと思います。進行を委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>まずは、評価報告書の取りまとめです。</p> <p>2番目はスケジュールについて、それから3番のその他ということです。</p> <p>評価報告書の中身については、詳しく見ていくと、時間をもったいないので、それぞれが今日の説明の後にもう一度確認していただいて、異論があれば事務局にお話ください。</p> <p>それを事務局から私にご連絡をいただいて、それでよければ修正してもらい、もしくはたくさん修正してもらい、最終結果を再び委員の皆さんに戻すという形になっていくと思います。</p> <p>それでは、事務局から報告書案の中身について、特に前年度からの変更点も含めてご説明ください。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から報告書案と変更点について説明 ・各事業の評価について説明
	<以下質疑応答>
委員	<p>(No.3 いなしき子ども大学事業) 「委員からの主な意見」が「機械」という語になっています。その後、委員からの意見で「宿泊学習」と書いてありますが、これは宿泊学習ではないですね。講義ですね。</p> <p>茨城大学の講堂に子どもを連れていくのですよね。講義学習なのかなと思います。</p>
委員	<p>キャンプと抱き合わせた宿泊ですね。</p>
事務局	<p>これは、キャンプ宿泊のみの宿泊学習だと定員がオーバーするくらいの申込がありますが、講義等と合わせて「いなしき子ども大学事業」を実施したら参加率が少なくなったということなので、修正をいたします。</p>

委員	もっと分かりやすい表現がいいですね。
委員	<p>(No.5 教育センター運営事業)の委員からの意見のところについて、「児童生徒が通える場所に施設があることが一番重要」というところですが、「一番重要」というと、通える場所にあるということがこの事業では大事だとなってしまいます。「児童生徒が通える場所にあることが望ましい」ですと、語調が強くなってしまっています。</p> <p>通える所に通わせることが今の稲敷市では難しいと考えますし、市としても、近くにある公共施設を利用して行っている部分もあるとおっしゃられたので、引き続き利用できる場所は利用してもらえたらと思っています。</p> <p>こういうお子さんはみんなに知られたくありません。どこに行っているのと聞かれたり、ようやく足を運んだところで知っている人に会ってしまったらすると、ぱったり足が止まったりしてしまいます。</p> <p>通える場所を探すことを優先して事業を展開していくとそういうことが起こるので、ある程度担当の皆さんも配慮して場所を考えていらっしゃると思います。</p> <p>その辺りのニュアンスが、一番重要と書くと分からなくなってしまいます。確かに通える所に不登校の数も多いため、通いたくても通えない方も実際にいますが、通うお子さんの自宅から、もうちょっと近くにあったらいいのにと思いました。</p>
事務局	例えば原文を活かすと、「児童生徒が通える場所に施設があることが望ましいため、地区の公共施設の活用なども検討すべき」となりますがよろしいですか。
委員	私としてはそのくらいのニュアンスでいいと思います。不登校の子ども達が一人でも多くこういう所に足を運んでもらえれば、そちらの方が、最重要です。
事務局	分かりました。ありがとうございます。
委員長	(No.7 江戸崎体育館整備事業, No.8 文化財保存普及事業)について、概ね適正であるのですが、やはり受益者負担のこと、もしくは手法のことは付記事項になっているので、概ね適正だけど検討すべき項目とか、言い方を変えて残していただいた方がいいと思います。
事務局	分かりました。表現を変えて残します。(留意項目とする)
委員	<p>(No.31 コールセンター事業)業務自体は必要であると思われませんが、契約手法については見直すべきではないかと思います。</p> <p>適切であるか検証すべきか以前に、随意契約はありえないので、もう少し強く言うべきです。</p> <p>また、「契約形態について」というところです。「委託先について、実際に架電する事業者と契約すべきではない」ですね。</p> <p>3行目については、「随意契約を継続すべきではない。」ではないでしょうか。</p>
事務局	修正します。
委員長	(No.32 シティプロモーション推進事業)は概ね適正ですが、意見としては、シティプロモーションは必要だが手法に問題があるのではないかというのが出ているので、それは、付与すべき項目で、手法を入れておいてもらった方がいいのではないのでしょうか。

事務局	「概ね適正である」の後に、項目として手法を入れます。
委員	(No. 12 家族介護継続支援事業) これは概ね適正ですが、評価結果の部分に「〔見直し項目：手法〕」と入っていますが、これはいいんでしょうか。
事務局	概ね適正であると評価されたものでも、意見の中で見直し項目の中に○がついていたものについては、概ね適正であるけれどもこういう部分は留意してくださいということで、見直し項目として手法を記載しました。
委員長	<p>留意すべき事項ということなので、「見直し」ではなく適切な言葉を考えてという話になりました。概ね適正なので絶対に見直すとは言っていませんが、意見が出ているのでその辺を分かるような形で書いてください。</p> <p>直接気がついたことだけ今話が出たと思うのですが、やはり委員が講評を書く中で見直すともう少し気がつくかもしれません。</p> <p>それは各委員の皆さんが講評の提出と合わせて、事務局に言ってください。それを私にフィードバックしていただいて、それでどうするか相談して、その結果を皆さんにお知らせします。次は最終回になってしまうので、そういうことでお願いします。</p> <p>また、前回の報告書と見比べた時に、1年目と一番違う部分は、2年目は1年目の見返しをやっているということです。</p> <p>それがここには書かれておりません。大きい項目で出さなくてもよくて、紙一枚分でもいいと思いますが、「一部見直し」は一度テーブルに載っているわけです。</p> <p>テーブルに載った結果がどうだったんだという。第1回委員会の中で、あの時に話をそこで終わらせるのか、今後も継続して報告させるのかという話で終わっていますが、再度報告を求める事業についてははっきりさせ、今後も報告を求めていくかどうかだけでもまとめていただけると、来年にまた生きてくると思います。</p> <p>講評に書こうと思っていますが、1年目は甘かった。2年目のほうが、皆自由に言い合えるようになったので、1年目と比較しただけでも「一部見直し」の量が全然違います。</p> <p>1年目の見直しを踏まえて、議題に上がった中身を整理したものが1ページ必要なのかなと思います。</p>
事務局	そうすると第1回の会議の中で、昨年「一部見直し」の評価を受けた事業に対しての取組内容を説明させてもらったのですが、その事業の中でも翌年度も継続していく外部評価委員からの意見をいただいた事業について1ページにまとめるということですか。
委員長	そういうのがあった方が、次の年度にもう1回報告を求める中身がはっきりします。それが積み重なっていくということです。
事務局	講評の前に1つ項目を作り、議事録に載っているものを集約して入れさせていただきます。
委員	後日ご説明します、というのもありました。そういうのもお願いします。
委員	平成29年度の報告書には、それぞれ担当課の対応方針というのが出ていますよね。
事務局	今日お渡しした30年度の報告書には、担当課の対応方針が空欄となっております。今週中に担当課に外部評価の結果を報告し、これから予算編成もございますので、今後担当課としてどのような形で取り組んでいくか、方針を検討いただきフィードバックをしていただく予定です。それを

	入れてまとめるようにいたします。
委員	去年もこうやっていただきましたよね。結局その後どうなったのかということですか。
委員長	1 回目の委員会で報告を受けています。それをまとめるということですか。年度が変わって担当も変わっているかもしれないし、今年に対応方針と来年の対応方針は違うかもしれない。そういう可能性もあります。 これはこれで記載させて、来年報告を受ける時は、これを参考にしてもらおうけど、これとどういう風に違うかということは、事務局で整理してもらいながら、1 回目か 2 回目でそこはやらないといけません。
事務局	今 9 月議会中なのですが、実は今回、補正予算の方も結構な額が各部署から上がっております。ですので、この対応方針を担当課に検討していただくのと合わせて実施計画の見直しも修正していただく予定です。 また、財政課でこれから当初予算の査定がありますので、外部評価委員会からの意見として外部評価報告書を報告しておきます。
委員長	2 年目は 1 年目よりフラットに意見が出ました。きっと我々の任期から言うと 3 回目に来ると思います。3 回目になると、こちらもある程度視点ができているから、もう少し意見が出るかもしれません。 内部評価と外部評価はお互いにレベルの競争です。何年目かに外部評価をもう緩めていいかという話のレベルにきつとなります。そういう意味では 2 年目は非常に過渡期的な状況が出ているような気がします。 最後に、我々が講評を書かなくてはならないということですよ。
事務局	そうですね。お願いします。昨年度同様メールで提出をお願いします。

(2) スケジュールについて (3) その他

事務局	スケジュールは事務局から希望ということでお話させていただきます。事務局の第 1 希望、第 2 希望です。
	<10 月 26 日 13 時から 14 時で決定>
委員	事前ミーティングはどうしますか。
委員長	前年度も 30 分くらい前に集まって最終確認をしました。
	<事前会議 13 時～ 市長報告 13 時 30 分～14 時>
委員	講評はいつまでですか。
事務局	事務局としては 10 月 9 日～12 日の週、2 週目くらいまでにいただければと思います。
委員長	では、12 日金曜日。どうしてもできなかった人は 15 日月曜日の朝にはメールをするということでしょうか。 26 日に報告をしますが、もうその前に各課には報告するわけですよ。
事務局	はい。今日の修正等を反映させ各課に報告します。
委員長	それが予算要求用で、内部的には 10 月 26 日だったら問題がないということでしょうか。 15 日の朝には完成形に近づいていると。そこまではとりあえず意見が言えるということですか。

事務局	また、今回第5回目の議事録をお渡ししてあります。もし修正等ありましたら、公表用のものを修正させていただきますので、次回お話していただければと思います。報告書を郵送する時に合わせて第6回、第7回の外部評価委員会の議事録をお送りしたいと思いますので、次回までに修正いただければと思います。
委員長	もう1つの日程ですが、去年は最後に担当課取組の方針というのを1月にやっている。これは今年もやりますか。
事務局	今年は、次回の市長への報告の前にとりまとめる予定ですので、市長報告の時点で完成形になります。今年度はそのためにお集まりいただかなくても大丈夫だと思います。
委員長	特別に報告の機会を設けないとすれば、きちんとボリュームのある形で担当課から聞き取ったものを送っていただけるといいです。 去年は市長への報告の時に対応方針は入っていませんでしたか。
事務局	入っていませんでした。最後の委員会で担当課対応方針を皆様に報告させていただきました。
委員長	担当課対応方針については事前に委員のみなさんに送ってください。
事務局	できるだけ資料がまとまりましたら報告書を郵送する前にデータで送ります。

4. 閉会

事務局	これを持ちまして、第8回外部評価委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。
-----	--

以上